（三日夕刊）
磐城新聞
休刊　大祭第一第三日曜
定價　壹ヶ月五十錢、壹枚二錢、郵税十錢
廣告料（雜報欄行五十錢　場所指定二十錢增）
發行兼編輯印刷人　蓮沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

權力政治に移れ

雲井生

十九世紀の政治史は是れ代議政治失敗の歷史であるとクロポトキンは言つてゐる、クロポトキンの思想はわれ等日本民族の思想と正反對であり、日本國民としては斷乎として排斥せざるべからず、ではあるが議會政治乃ち代議政治に對する觀方は矢張り一致して居る點に就ては共鳴を禁じ得ない所である。

×

代議政治は乃ち政黨政治である、多數の政治である故に若し其多數黨が眞に人民の意思を代表するものならば代議政治は何ほ將來命脈ありと言ひ得るが事實はさうで無い、黨の意思は必ずしも黨員の意思に非ず黨員の意思は必ずしも人民の意思では斷じて無い。

×

歐洲諸國に於ても大底のは二三首領連の相談にて決す、る乃ち黨の秘金を掌握する領袖連は黨內に殆んど專制政治を行つて居るのだ、一般の黨員即ち代議士は解散の一語で何時も威嚇されて屈服する

×

民政黨が口を開けばすぐ英國の議會政治は、といふ民政黨が模倣追隨する所の英國の議會はどうだ、英國の議會が國民の代表機關であつたといふことは既に古い昔の歷史となつた、而も今日の英國民は苟くも一戶を有するものは悉く選擧權を有し婦女子にまで選擧權を與へてゐるが、その選出する選良なるものは如何なる人物であるか、

×

議會政治に夢中になつてゐるものはよく注意して調べて見るが可い、驚く勿れその大部分に於て金力の多きものが勝ち、尠きものが敗北するは事實である。而して其議員が議場に發表する意見は果して其の良心の自由發表であるか、斷じて然らず、いはゆる政黨の基金が占領してゐる少數者の指揮に従つて議員は蠢動するに過ぎないのだ

×

今や英國民は自國の社會が混亂して居る苦痛の中心黑い影の中心がこの議會政治、政黨政治の中にあるのを自覺して議會制度そのものに信を置かず、何等か之に代るべき立法機關、人民に對する責任機關を發見しやうと悶えて居る。しかも國會の歷史に最も光榮を有する英國に投票權の神聖などゝいふ思想を有するものは極めて尠くなつたといふことは何たる矢肉なことだ

×

それのみならず英國の勞働運動が近來頗る激越の調子を帶びて來たのは同國の經濟狀態、政治狀態が自然に逼迫して來たことに依るがその勞働者や社會黨の間に今日の國家を全然解体して勞働組合をして一切を處理せしむるか否やといふ議論が實際問題として論じられて居るといふに至つては驚くべきことではないか。

×

もしそれ、わが日本にさうした思想が流れ込んで來たなら、どうする、一体今日の政治家は思想方面の研究を餘りに等閑に附して顧みないのは歎くべきだ、直譯思想に囚はれて批判的立場に出ることが出來ぬほど頭腦が幼稚なのか、又は黨利黨略自己一身の榮達などにのみ沒頭して國家を考へる餘裕が無いほど無神經になつてゐるのか、

×

われ等の理想とする政治家は學古今に通じ、識東西を貫く乃ち人格識見一世に秀づるのでなければならぬと信じてゐる、然るに今日の政治家は黨利黨略と自己一身の利害にのみ走つて國家を想ふの士は尠ない、殊に政權慾のために國家國体を否認しつゝある無產黨と提携すべく抱込運動を策しつゝある立憲民政黨の如き政黨の存在を見るに至りては實に驚かざるを得ない

×

もし、立憲民政黨が現內閣不信任案提出に際して無產黨と相提携する如きことあらば、その時こそ、立憲民政黨は國家國体を否認する醜團であり、僞黨であり朋黨であることを覺悟せねばならぬ、然り而してわれ等は忌憚なく立憲民政黨は赤であると斷定するであらうことを斷つて置く。

×

此の意和においてわれ等は國家主義に幾分の目醒めを持つ政友會に向つて切に忠告する。徒らに民政黨あたりの自由主義、議會中心主義などを模放せず飽迄も國家主義、國民主義に牢乎たる決心を持ち、思想が古いなどゝ嘲罵されても可徹底した權力政治に移り議會政治、政黨政治を眼中に置かず、國內に漲り來つた赤化思想を掃するがために共產黨を刈り盡し、一人殘らず國外に追放するか、法に依つて嚴罰に處し而して以て民政黨と華々しく決戰せよ。

×

民政黨內にもし共產主義者あらば遠慮なく彈壓しこれまた假責なく徹底的に嚴罰して國內の思想を一新し以て光榮ある日本帝國の基礎を確立し今や現實化せんとする危機を掃すべし。

（三、二日朝稿）

※明日の吉凶※

舊曆二月十三日　新曆三月四日

▲一白　慾に心を奪はるゝときはあぶ蜂取らずとなる▲二黑　十分と思ひし事も九分より外とれ來り暗き日▲三碧　尻落付く日企業開店名弘めいづれも大吉なり▲四綠　志操堅固なれば活氣も從つて生じ來るべし▲五黃　世話事多くとも誠を込むれば無事に解決す▲六白　浮か浮かと動きめぐれば骨折損となるべし▲七赤　他人の言葉を能くかみ分け取捨聽否を決すべし▲八白　變化激しき日なる故心を散らさぬ樣すべし▲九紫　心せはしければ成るべき事も破るることあり

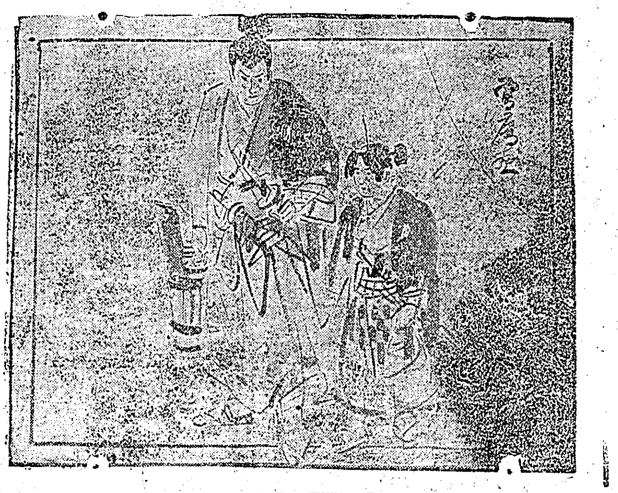
講談

闇に閃く男達

(30)

高田涙川作
尾崎雪齋畫

立派な後ろ見



善兵衛、善助初め子分ら大騷ぎをなし、八方へ手を分け重太郎の行方を探してゐる處へ、重太郎はブラリと歸つて來た。

「オ、そこへ歸りなすつたのは坊樣ぢやありませんか、どこへおいでになりましたか、善助は坊樣のお姿が見えないものですからどれだけ心配をしたか知れません……オ、とつさん、重太郎樣がお歸りになつたよ須松手めねもう行くに及ばねえ」

善助はヤレヽヽ安心といふ態である

「オ、重太郎樣、どこへいつていらつしやいました」

善兵衛も飛び出し來りて問ふ。

「己は極樂寺へいつて來たのだ」

重太郎は平氣なもので答へる

「エーッ、そりやアいつの事です」

善助は不審さうに尋ねる

「昨夜牢そつと拔けていつたのよ」

「冗談ぢやございませんぜ……ではあの極樂寺へ化が出るとの話を野郎共が話してをるを御聞になり、それでおでかけになつたのですか、ほんとうにあなたはどこまで大膽な方でせう、之といふ立派な武士でさい手を燒へてゐる所へ大切な大事なお身体を以て、あんな所へ行きもしもの事でもありましたら、あなたはどうなさすたつもりでございまする、しかしお怪我のないのが何よりでございました、もう決してそうゆう無謀な事をなさいますな、なにごんなものがでるからといつても我々になんの邪魔をするといふでもなし捨てゝおけば人の噂も七十五日今に何にもいはぬ樣になるでせう」

主人思ひの善助は忠告を試みた

「イヤ私はもう一ど行くつもりだ」

「たよしなせね、相手が神通力を得たものだつたら大變な事が出來るかも分らねえ、物知りくさえいひ分だが、君子は危に附近らす、とか云ふ事もあります、もう決していつちやアいけませんよ」

善助はあくまで止める

「そりや善助私の身を思ひいつてくれる御注意はあり難いが昨夜妖怪を見て來たのだから今日はいつて立派に退治してくるのだ、尤も私には立派な後見人がついてゐるから大丈夫だ」

「アハヽヽ、なんのそんな事をいつたつて、あなたが妖怪を見るなんて事ができさうな事はございません、そんな馬鹿なまねをするものぢやアありません、又どういふ人が後見をするか知らねえが、まだこの間の武士の樣にほうヽヽの体で逃げ歸る位が落でせう、惡い事は決して申しません、その事は止めなさいませ」

善助はどうしても止めさせやうとするのである

「イヤその後見といふのは拙者の事である、詳しい事はそれへ參つてお話しをする事にいたさう、許して貰ひたいッ」

ズッとはいつて來たは重太郎が伴ひ歸つた中原幾太である、不意に入つて來た見知らぬ武士、元より重太郎が同道せしとは知る由もないから

「へエ、出でなさいませ、あなたはどちらから……」

善助は尋ねに

「イヤ、拙者は中原幾太と申す越前福井の浪人であるが當家へ參つたといふのは實は斯樣々々の次第」

前夜の罷てを物語る善兵衛善助始め子分一同は重太郎の豪膽に驚かぬものはなかつた

「左樣でございましたか、それまで御承知の事なれば隱し立てをせずすつかりお話しをいたしまする、實はこの重太郎樣と申しまするは、かうヽヽいふ次第でわつちの倅善助がお預申して歸つてをります、大切な預り人でございますから、もしもの事がありたけがでもなすつては大變だと思つてをります、しかし考へて見ると獅子は我子を千丈の谷へ落してその力を試すといふ事もある、餘り大事がるばかりではとても御父上の跡目をたつぎなさる事もできますめえ、それぢやアともかくもあなたを見こんでお預け申しますからたけがのない樣に大切におつれ下さいますやうにお願申しまする」

善兵衛は中原幾太を天晴の武士と信じて重太郎を賴む中原幾太は善兵衛にヒルヨルの二人の辨當と酒を五升樽に詰めさせ

「では善兵衛どの、重太郎どのは確かに預つた決して御心配なさるな」

中原と重太郎は辨當と酒を携へ再び極樂庵へ來る

廣告

御需めの方は
平白銀町
吉田新聞店へ
電話四十八

平町舊城跡
青沼醫院
電話四〇三番

貸地廣告
平町郡役所より税務署附近の新開地に一千餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絶對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり或けば社員が伺ひして親しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社
平出張所
電話六〇三番
五四一番

平町郊外關ノ上
土木建築請負　強口唯七郎
電話四〇一番
砂利、砂は御用命あり次第砂一升砂利一俵以上直ちに御届けいたします

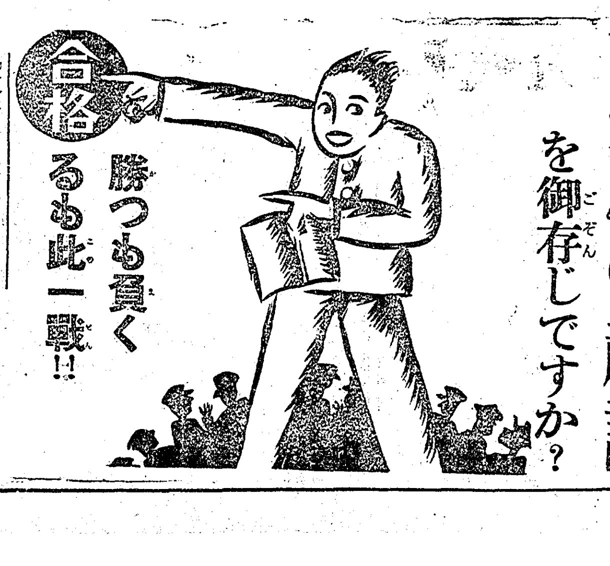
ホシ胃腸藥

胃腸藥
星製胃腸藥
ホシ胃腸藥

御料理
平新田町
青柳
電話二一四番

女中至急入用

醫藥學大家實驗證明せる
腎臟病新藥　ネオフロン
急性及び慢性腎臟炎に服用して最も優秀なる効果顯著なり
價格　一圓五十錢、參圓、五圓
代理店　平町五丁目角　山野邊藥局
藥劑師　山野邊東次郎



新しい受驗の秘訣を御存じですか？

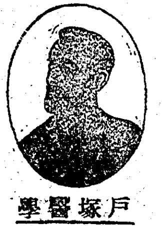
受驗日が迫つた！
[illegible]

新しき秘訣は是だ
[illegible]

受驗に惱む若人よ
[illegible]

特に神經衰弱の徴候ある人精力の旺盛、頭腦の明晰を以上に欲する諸君は此際何を措いてもトツカピンを服んで、根本的復活を圖り新興の氣鋭を以て試驗場に臨まれよ！而して躊躇逡巡すれば貴下は永久の落伍者となるであらう！

トツカピン



戸塚醫學博士推奬

定價　[illegible]

東京市銀座新肴町八　振替口座東京七二三一番
丁子堂藥房
大阪市西區新町通二丁目　振替口座大阪一〇六番

○全國到る處の藥店にあり
品切れの節は本舗へ
前金注文は送料不要
代金引換は送料實費

苦しい無理算擔をして兎も角も豫算審議結了
一樣に惱む教育費の膨脹
本郡各町村財政窮乏

石城郡下各町村に於ける昭和三年度豫算審議の町村會は總選擧のどさくさ騷ぎに何れも延引し選擧終了後各町村役場は俄にいそがしく無理矢理押し付けて兎も角大体の結了を見たが、さて明年度豫算案

編成に當り最もこまつてゐるのは漁農村ともに一昨年以來引つゞきの不況で就中昨秋米價暴落の影響を蒙り農民生活は極度に疲弊して來た爲め本年豫算を編成するに際し町村當局の心一方ならざるものがある、而して何れの町村とも困つてゐるのは敎育費の增額でこればかりは泣いてもわめいても如何ともすべくかできず殊に就學兒童の激增によつて校舍增築の要せまられてゐる、町村にて止むなく役場費、土木費その他雜費を

削減して教育費に充當するといふみじめなころもありさらに郡役所廢止後一樣に泣かせられてゐるのは町村長及び吏員の旅費が著しく增加し町村經濟を極端に脅威してゐる事で、過ぎ去る大正八九年の好況時代に增額した町村經濟を今俄に縮少するわけにゆかず當局の苦心はなみ大ていでなく往々前年度豫算の節減で行はんとしても實際町村民の生活狀態が萎微不振では豫算に於て增額した結果となるばかりでなく前年度滯納も相當多く如何に少なる村にも七、八千づゝは

未納になつてゐるため明年度豫算編成は近年曾て見ることのできぬ悲惱をきなてゐる

土地の賃貸價格に無關心な地主
小作人も更にのんきで
平税務署が啞然

平税務署が昨年來一生懸命調査を急いでゐた土地賃貸價格はすでに各町村調査員連の調査によつて税務署原案が決定し

一月初めから二月初めにかけて各町村で一般土地所有者及び小作人の從覽に供したが各町村の模樣を訊いて見ると地主にとつては自分の土地の地價が變更され小作人にしても今後永久の小作料が變るのにすこぶる無頓着で町村による從覽期間中ほとんど從覽者のなかつた地方がゝなりあつたといふ、今回きめられた土地賃貸價格が

今後地租の課稅標準になるかどうかはまだはつきりしないが政府が多大な金と努力を費して調査決定したのだから早晩さういふことになると見なければならぬのに世智辛い世の中に田舍の人はさてものん氣ではあると各税務署員はあきれてゐる

町民は事務管掌を要望
高木町長の辭職同情の價無きに非ず
苟しくも輕々にし能はぬ後任者選考
◆湯本町長後任問題紛糾

本郡湯本町は高木町長の失政一二にして止まらず遂に町民の憤起となり刑事問題を惹起する等自治体近來の失態を暴露し紛糾を重ねて來たが高木町長は茲に深く

自責を感じ去月二十日辭表を呈し町會は之れを速かに承認する事となつたが更に後任町長問題につき二十八日町會の協議會を開き小泉三代喜、長壽男、鈴木康平、酒井寅三郎の四氏を候補者として選衡したるも意見の一致を見ず散會したが紊亂今や極度に達せる湯本町の町長として後善に處する適任者を選衡するには苟しくも

輕々にすべきものでないが故に不敢取事務管掌を要求し徐ろに後任町長を選衡する事が最も適當なる善處策なりとの町民の輿論擡頭し左記町民有志代表等は陳情の形式により町會議員に激を飛ばし目的の達成に努めてゐる陳情書全文左の如し

陳　請

前町長高木已之吉氏が相次ぐ失政の責を引いて屑く公職を辭任せられしことは四圍の狀勢茲に止を得ざりし事とは言ひ聊か以て同情に値する所なきにあらず、然れ共これによりて多少とも町の和の曙光を透見し後禍なきを期するの道の開かれたることは少なくとも高木氏の最後に悔なきところなるべしと信ず、惟ふに事茲に到達し得たるは元より高木氏の私情に拘泥せられざる襟度を大なるによりしは勿論なれども同時に又町區民の聲に耳を貸すの愛町的精神に富める町議各位が各自の立場を鮮明にせんとし斯る努力斡旋の結果たりしや言を俟たず、而かも更に大なる責務を負ひ異常の努力を要する所のものは町長を送りし後に遺されたる失政失態の整理と恢興となり、

賢明敏俊なる町議諸員は既に夙に心を茲に設し以て速かに町區民の不安一掃しうべき方策につき熟苦審議日を重ね回を數へて今日に到りしことは實に責任を知る町會議員として吾等深く其勞を謝するものなり、惟ふに此方自治躰として其の內容實狀本町の如く機微にして其の構成の復雜なるものあるを聞知せず

從來の理事者等が其の終りを全ふせして責任を問はれ所以のものは實に每に此の機救を失し復雜なる組織の整躰を慾まりしことに因す、今再び此の機を諸すを職を辭したる前任理事者の失政の家を承けて善後整理の任當るもの深く此等の點に留意し自治政運用の妙腕と拋私就公の正とを確持する者にあらずば以て容易に此の闘難を啓き得ざるべきを信す

形躰の彌縫に以て內容を整ふるを得ず、手段の姑息は一時的にして却て徒らに煩を後日に遺すものなることを信ずる吾々有志は此際敢然縣當局に乞ふて敏腕なる事務官の派遣を煩はし一切を擧げて其の管掌に委ね忌憚なき整理に待つて然る後愼重に後繼理事者の選任を諮すること最も適當にして有效なる唯一の策なるを信じ敢て茲に書を草した机下に呈し、誠實なる微意を陳じて名譽ある町會議員各位の賢慮明察に愬せふる次第なり、願はくは具に御考慮あられんことを。

町民有志代表

若松孝平、鯨岡賢司、井坂千代松、小井戶大次、後藤制吉郎、武藤政雄、柳田輝雄、若松英三、比佐榮一

漁師が縊死
病氣を苦に
四倉の五十男

石城郡四倉町九七串創業廣岡松治(四七)は一日午後八時三十分自宅座敷に於て縊死を遂げたが松治もやはり生活難に加へて心臟病を患つてゐたものであるが死の當夜は妻ゆきに二人の子供を添へて古新聞を求めに出し次男廣治(七)は酒二十錢分を買求めさせ是れを此の世の名殘に飲んで縊死を遂行したものである

子供の愛に免じて不貞な妻を捜す
鮮人と出來て逃げた女を
平署へ捜査願

川部村大字沼部農、油座卯之吉內緣の妻山形縣西村山郡佐貝村生れ森谷ハナ(三〇)は去月廿三日午後十時頃夫の不在中を見濟し衣類其他自分の所持品を持出し無斷家出したのを程經て卯之吉が發見大騷となり直ちに八方行方を搜査中未だに判明しない處から今三日午前八時頃平署に出頭妻の

行方搜査方を願出たが家出の原因は昨年十月頃まで同村附近王城炭礦に稼いでゐた朝鮮京畿道生れ李演泰事金澤長吉(二三)とハナが情交し夫卯之吉が此れを知つた頃は二人の仲は全く深間に陷ちて居りそんな關係から李演泰は何處ともなく行方を晦ましたが最近に至りまた〳〵附近に姿を見せてゐたか、遂に兩人は示し合せ驅落したらしく

李演泰は磐城炭礦邊りで稼いでゐる、夫を棄てゝ家出する樣な不貞な女に未練はありませんが幼い子供がある事ですから」と素朴な卯之吉も流石に泪ぐんで願つてゐた

山形行き

草野　順平

久し振りにて奧羽線に入る、春未だ淺く板谷峠附近より殘雪多く四尺餘り民家を半ば埋沒、電柱立木のいたく短く見ゆるも故なきにあらず

雪少き國に生れたる者には何となく物珍らし「子の出來る五色名湯」の廣告は處々に見ゆ、人口增加に苦しむコノ國にて入[illegible]が[illegible]いとは誠に奇しき現象と可申、いつれやがては衰運に傾くなきやを恐る、尤も冬季スキーの好適地と稱せらるゝに至りたるは此の地にとりて一種の繁榮策ともならむとは考へらる、

インクラインを行きつ戻りつゝいつしか列車は峠驛を過ぎ米澤中野に向ひ下り坂となる、石に北國氣分濃厚、山野一樣雪に埋れて謂所目[illegible]々米澤市に[illegible]つけば、行き交ふ人々の紋付姿に藁靴着け稈引き歩くも目新らし

前年勤務演習に引張られて來た事のある赤湯、上ノ山溫泉附近の風物稍々記憶に有すれども積雪の爲めさだかならず

土掘れば此處も
　湯の湧く秋暑し

厚化粧の舞子
　踊るや秋暑し

[illegible]驛句[illegible]古[illegible]呼び起して獨りほくそ笑み日暮れ山形市に入る

あたりみな雪の
　ままなり春に入る

雪解けて春めく
　街のぬかり哉

一杯の酒に
　醉ひけり雪の宿

雪解げり薔薇の
　芽生の懐かしき

平税務署の地租納入額
納入四萬人

平税務署調査による本年一月一日現在の地租納額調べによれば五百圓以上の多額納稅者はわづか四名で二百圓以上の二十七名百圓以上七十五名五十圓以上二百八十三名三十圓以上七百七十六名に上り一番多いのは廿錢年未滿の六千四百四十五名で一圓以上の三千六百六名廿錢以上の三千百四十八名五十錢以上の三千百十九名これに次いでいるが高額の割合に多いのは二十圓以上の千三百四十八名十五圓以上の千百四十六名といふ處で石城郡の納稅者は三萬八千百七十四名に達してゐる

種馬の證書
五日授與式を擧行

石城產馬蓄產組合では來る五日午前十時から石城舊郡役所に於いて今年度種馬の證書授與式を擧行する

春を待つ
平町の流行界
生活の要求に現はれた
三井呉服店調べ

平町地方は去る一月末以來解散だ、總選擧だと騷ぎやつと選擧も濟んで、ホツトして空を見やれば三月日和でなごやかに陽が輝いてゐる、いつの間にやら

春が立つて地上はしばしひのみな芽生える生の氣配に浸されて靜肅である、そして都の春は輕やかなベーフメントのジャズに躍るショウヰンドの色彩から始まる、まだ春待ち遠しいスヽかけの影を平町の商店街へと運ぶ、すゞろなる東風に一抹の冷氣掠むれどもさすがに春意のふくまれてウヰンドウの雅やかな友禪のお召に行人の心をひく色彩の飾窓にあらはれた今年の傾向を平町三井呉服店について聞くと昨年などより一段の落着きを示し徒に刺戟的であつた前年に比較しより調和を主眼とする傾向があらはれ

模樣の構成にも餘りに鋭角的なセ、シショナルコンポジションが廢れ、むしろ古代の澁味多分にとり込まれた仲々近代的な新鮮な感觸を表現しやうとする努力が見られ持物、小物等の形狀に於いても同樣の傾向を同蹟することが出來るが之を要するに茲に三四年來の餘りにも騷擾であつた時流も愈整備の緖についたと見做される、昭和三年度に當つて人心も自づと己れ〳〵の生活に根ざしたそれ〳〵の落ち着きと調和的生活を要求する表はれである、こまれ、南風そゞろに渉つて

春待つ間の此の靜けさは近年まれに見る落ちつきであり嬉しくも昭和三年の幸福か今にして一杯に豫感さるゝのである

牡馬配合檢査

石城產馬蓄產組合では來る八日午前九時から永戶村大字下永井に於いて縣から貸下げられた縣有種牡馬の配合檢査を施行する筈である

水產會主催の
天測講習會
四倉で開會中

本縣水產會聯合會では二月二十八日から本月六日まで大型漁船甲板部員の天測講習會を石城郡四倉町に於て開催するが講師は戶田水產會特派員及び本縣水產試驗場、中山、巖谷兩技手である

入山炭礦の手で
廣野炭礦復活
浮び上る附近の農村
大倉組の大英斷

石城郡湯本町入山炭礦で先年來の炭界不振にも比較的打擊を被る事少く大体順調に操業を續け來つたが今回更に大倉組の買收したる双葉郡廣野炭礦に對し同組の依託を受け併せ經營する事となり坑務所長漆野佐市郎氏をはじめ吉田事務部長大貫技術部長等の幹部社員は近來同地に往復しその着業準備中である而して前記廣野炭礦は先年一時相當の活況を示したる事あり從つて附近農村等に在つては之れが餘澤を被りつゝあつたのを其後操業の中絕と共に以前の一寒村に還り炭礦全盛當時の賑ひを見る事が出來なくなり一般少からず失望してゐた矢先なので今回入山の手により同礦の復活を見るに至つた事は先年の殷賑を再現するものとして少からずその將來を期待されてゐる

明日休刊

實現近い
蒲市場移轉
加入者も多數

石城郡販賣利用組合の平及植田蒲市場新設計は既報の通りで大体養蠶これとしても歡迎し且各町村の寄附額等も順調に應諾され一般組合加入者の募集成績も各町村に數名の委員を置き勸誘中で頗る好良なるものがある但し過般の選擧騷ぎで稍中斷された形ちとなつたが組合の方針通り果して春繭季迄に設立され得るや否や疑問であるが大勢は既に前述の通りで赤井小川の如き兩村だけにも三百餘名の組合加入者を見てゐる樣な有樣であるから其實現も案外急速に運ばれるであらう

時言

笑つて呉れ給ふな、地主や小作人が土地賃貸價格に注目せざる以所のものは、斷じて無智や無慾からではない

□

今や農村は地主も小作人も疲れ切つてゐる、夕の糧の苦面に逐はるゝ彼等には、明日の得失を判斷する理智が失つてゐるのだ

□

農村振興、それは政治家が百姓を惑はす一の好餌に過ぎぬ、眞の農村振興とは蓋し末代の理想論に終るのか

□

夫や子を捨てて情夫と走つた妻を搜し廻る二本棒が出た「子供の愛に免じ」なる理由はソリャ御亭主眞實のことか

日東のラジオ
最新高級のラジオ製造販賣
並に部分品提供
當分の間　奉仕的破格値段
三球セット取付共

A	百貳拾五圓
B	百圓
C	七拾圓

御用命次第店員をお伺ひ致させ懇切
御相談に應じます。
平町白銀町
日東商會
電話四二八番

金牌一等賞數回受領
磐城國平町
草野染工場
電話三四八番
◎徒弟入用
徒弟契約ニ付テハ年明キニ際シ有利ニ御相談申上候

深キ經驗ト
正シキ學理ヲ基トシテ
最新ノ設備ト
優秀ナル技巧ニ依リ
多產廉賣
益々聲價漲ル　萬年瓦
仙臺高等工業學校試驗證明
鐵道省
福島縣廳
栃木縣廳
青森縣廳
指定品
福島縣四倉町
萬年瓦工業株式會社
電話三八番

平町紺屋町
吉田眼科醫院

內科
小兒科
皮膚科
花柳科
平町舊城跡(城山)
青沼醫院
醫學士　青沼淡夫
電話四〇三番